

III 集計結果の分析

1. 防災・消防・救急について

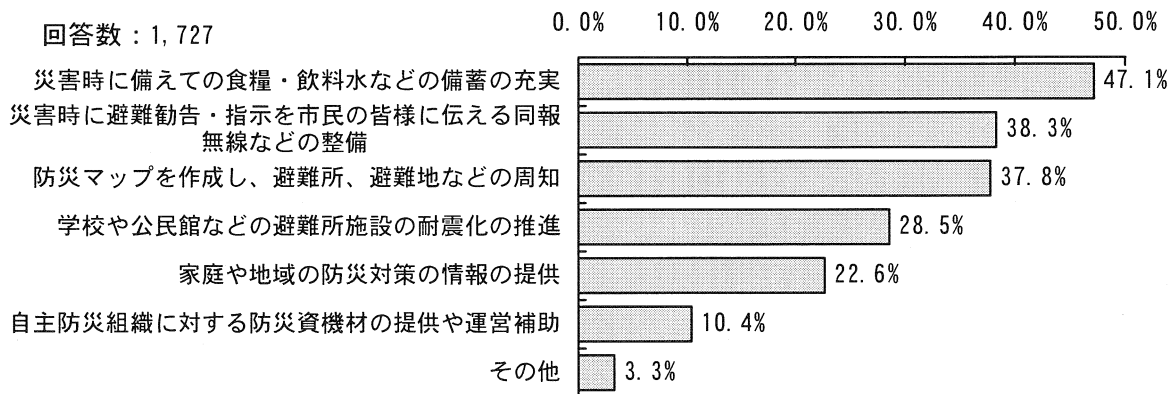
1-1 防災対策について

1-1-1 市が力を入れるべき防災対策

問1 防災対策として全てが重要ですが、市が特に力を入れるべきだと思われる取り組みはどの項目ですか。【あてはまるもの2つに○】

市が力を入れるべき防災対策は、「災害時に備えての食糧・飲料水などの備蓄の充実」が47.1%で最も多く、次いで「災害時に避難勧告・指示を市民の皆様へ伝える同報無線などの整備」(38.3%)、「防災マップを作成し、避難所、避難地などの周知」(37.8%)となっている。

図 市が力を入れるべき防災対策（2つ以内で複数回答）



地域別にみると、「月ヶ瀬」と「都祁」以外の全ての地域で「災害時に備えての食糧・飲料水などの備蓄の充実」が最も多く、「東部地域」では「防災マップを作成し、避難所、避難地などの周知」も最も多くなっている。回答の多い順の2番目は、「西部」と「中部」と「南部」では「防災マップを作成し、避難所、避難地などの周知」であるが、「北部」と「中央市街地」では「災害時に避難勧告・指示を市民の皆様へ伝える同報無線などの整備」となっている。「月ヶ瀬」と「都祁」では「災害時に避難勧告・指示を市民の皆様へ伝える同報無線などの整備」が最も多く、「月ヶ瀬」では「家庭や地域の防災対策の情報の提供」と「自主防災組織に対する防災資機材の提供や運営補助」も最も多くなっている。

表 地域別 市が力を入れるべき防災対策（2つ以内で複数回答）

	有効回答数	進難学周避防	同を害時	る示災	の家	営防自	の糧災	そ
		所施や	知難所、	同を害時	庭や	助防自	充・害	他
		設公	マッ	無民に	の地	機災	実飲	
		の民	避	線な皆	域の	材組	料に	
		耐館	を	難難	防	織に	水備	
		震な	地作	ど様	災	対	なえ	
		化の	な成	のに	勧	対	どの	
		の推	どし、	告・	告	や	の食	
			の	整伝・	・	運	備蓄	
				備え指	策			
全体	1,727	28.5%	37.8%	38.3%	22.6%	10.4%	47.1%	3.3%
西部地域	769	29.9%	40.1%	39.0%	22.1%	8.5%	46.6%	4.0%
北部地域	125	30.4%	31.2%	44.0%	16.8%	8.8%	54.4%	0.8%
中部地域	114	30.7%	41.2%	39.5%	27.2%	6.1%	42.1%	0.9%
中央市街地	414	25.8%	37.4%	37.9%	22.2%	14.3%	49.8%	2.2%
南部地域	122	33.6%	36.1%	27.9%	23.0%	13.9%	47.5%	4.9%
東部地域	26	11.5%	42.3%	26.9%	19.2%	26.9%	42.3%	7.7%
月ヶ瀬地域	9	11.1%	22.2%	44.4%	44.4%	44.4%	33.3%	0.0%
都祁地域	31	29.0%	35.5%	54.8%	29.0%	9.7%	38.7%	6.5%

* 地域（無回答）：117人

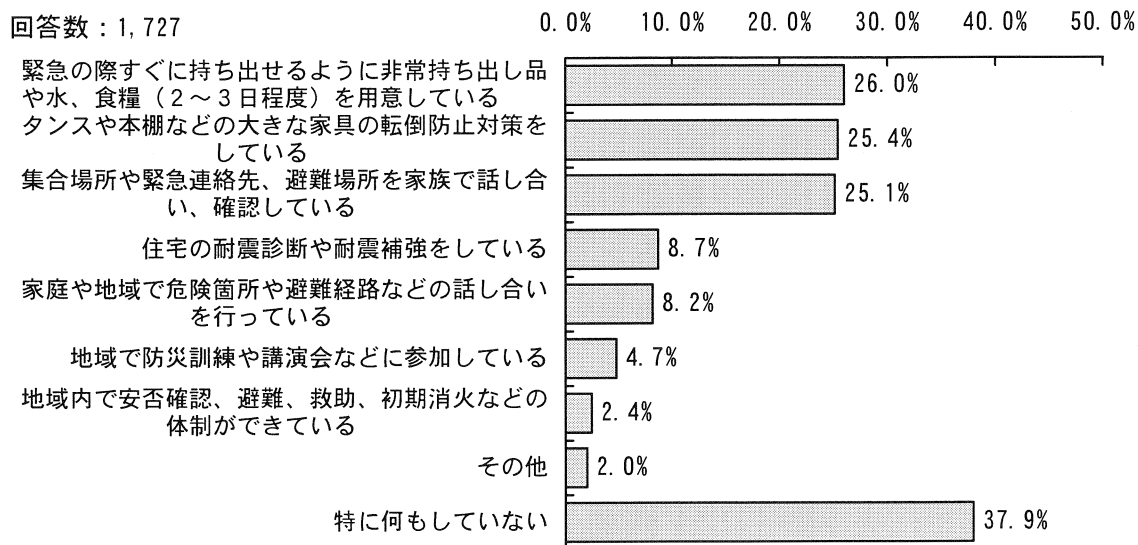
1-1-2 家庭や地域で行っている防災対策

問2 防災対策としてご家庭や地域で行っておられる取り組みは、次のうちの項目ですか。
【あてはまるものすべてに○】

家庭や地域で行っている防災対策は、「特に何もしていない」を除いて「緊急の際すぐに持ち出せるように非常持ち出し品や水、食糧（2～3日程度）を用意している」が26.0%で最も多く、次いで「タンスや本棚などの大きな家具の転倒防止対策をしている」（25.4%）、「集合場所や緊急連絡先、避難場所を家族で話し合い、確認している」（25.1%）となっている。

なお「特に何もしていない」は37.9%となっている。

図 家庭や地域で行っている防災対策（複数回答）



何を行っているか家族構成別にみると、「二世帯世帯（本人と子ども）」では「集合場所や緊急連絡先、避難場所を家族で話し合い、確認している」（27.8%）が最も多く、「二世帯世帯（本人と親）」では「タンスや本棚などの大きな家具の転倒防止対策をしている」（23.7%）が最も多くなっている。他構成世帯ではいずれも「緊急の際すぐに持ち出せるように非常持ち出し品や水、食糧（2～3日程度）を用意している」が最も多くなっている。

表 家族構成別 家庭や地域で行っている防災対策（複数回答）

	合計	緊急の際すぐに非常持ち出し品や水、食糧（2～3日程度）を用意している	集合場所や緊急連絡先、避難場所を話し合い、確認している	タンスや本棚などの大きな家具の転倒防止対策をしている	住宅の耐震診断や耐震補強をしている	家庭や地域で危険箇所や避難経路などの話し合いを行っている	地域で防災訓練や講演会などに参加している	地域内で安否確認、避難、救助、初期消火などの体制ができています	その他	特に何もしていない
全体	1,727	26.0%	25.1%	25.4%	8.7%	8.2%	4.7%	2.4%	2.0%	37.9%
単身	134	26.9%	17.9%	17.9%	3.0%	4.5%	3.7%	3.7%	2.2%	45.5%
夫婦のみ	430	29.8%	27.0%	29.1%	8.8%	8.6%	4.9%	2.3%	2.3%	33.3%
二世帯世帯（本人と子ども）	580	25.5%	27.8%	26.6%	9.5%	8.1%	4.7%	2.1%	1.9%	36.2%
二世帯世帯（本人と親）	249	20.9%	20.9%	23.7%	6.4%	8.8%	4.0%	2.4%	0.8%	45.8%
三世帯世帯	210	25.7%	24.3%	22.4%	13.3%	8.1%	6.7%	3.3%	1.4%	37.1%
その他	31	29.0%	25.8%	25.8%	9.7%	12.9%	12.9%	3.2%	6.5%	35.5%

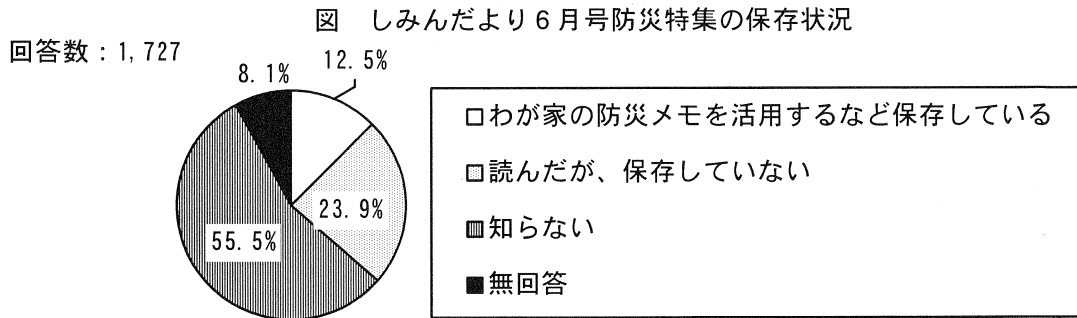
* 家族構成（無回答）：93人

1-2 しみんだより 6月号防災特集について

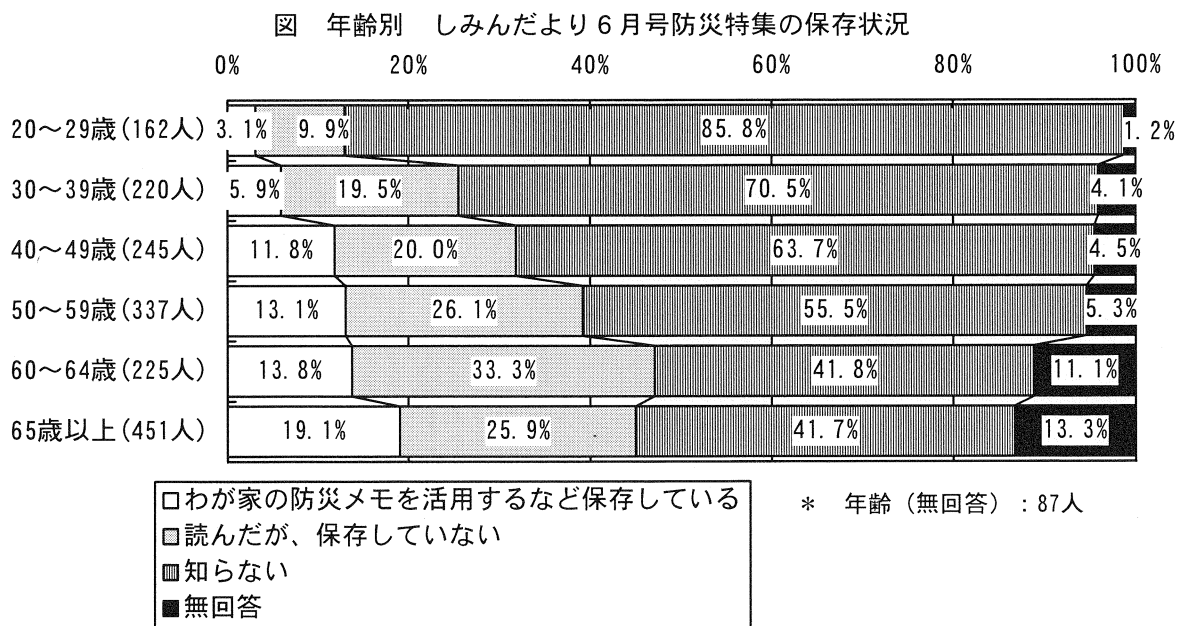
1-2-1 しみんだより 6月号防災特集の保存状況

問3 今年のしみんだより 6月号防災特集（保存版）についてお聞きします。【あてはまるもの1つに○】

しみんだより 6月号防災特集の保存状況は、「知らない」が 55.5%で過半数を超えており、次いで「読んだが、保存していない」が 23.9%となっている。



年齢別にみると、「知らない」は「20～29歳」が 85.8%で最も高く、次いで「30～39歳」（70.5%）、「40～49歳」（63.7%）となっており、年齢が下がる程認知度が低くなっている。また、「読んだが、保存していない」は「60～64歳」（33.3%）で最も高く、「わが家の防災メモを活用するなど保存している」では「65歳以上」（19.1%）で最も高くなっている。



1-2-2 しみんだより6月号防災特集に対する感想

問3-1 問3で「1. わが家の防災メモを活用するなど保存している」または「2. 読んだが、保存していない」と答えた方はご意見、ご感想をお聞かせください。

しみんだより6月号防災特集を「わが家の防災メモを活用するなど保存している」または「読んだが、保存していない」方の内、239人(38.1%)からしみんだより6月号防災特集に対する感想をえた。分類すると、「防災特集について」は177人、「災害に対する備え・心構えについて」は58人から回答をえた。防災特集について、「災害用に大切に保存」が27人で最も多く、次いで「満足している」(19人)、「保存しているが、活用できていない」(17人)となっている。災害に対する備え・心構えについて、「災害に対して実感がない」が19人で最も多く、次いで「今後、災害に備えたい」(11人)となっている。なお、自由記述は複数回答のため、回答数の合計と全体は一致しない。

表 しみんだより6月号防災特集に対する感想

大分類	小分類	回答数	構成比
防災特集について	災害用に大切に保存	27	11.3%
	満足している	19	7.9%
	保存しているが、活用できていない	17	7.1%
	災害時に防災特集を活かせるか不安	15	6.3%
	内容を具体的かつ簡潔にしてほしい	14	5.9%
	定期的に発行してほしい	13	5.4%
	紛失した	13	5.4%
	内容について覚えていない	11	4.6%
	防災特集を元に非常持ち出し品等を準備したい	9	3.8%
	避難場所を確認できた	7	2.9%
	小冊子・別冊にしてほしい	6	2.5%
	読んでいない	6	2.5%
	防災マップや避難場所のマップが欲しい	4	1.7%
	その他	3	1.3%
	時々読み返している	3	1.3%
	目立つよう工夫してほしい	3	1.3%
	冷蔵庫等に貼れる形にしてほしい	3	1.3%
	内容についてもう一度確認したい	2	0.8%
	防災の大切さがわかった	2	0.8%
	計	177	74.1%
災害に対する備え・心構え	災害に対して実感がない	19	7.9%
	今後、災害に備えたい	11	4.6%
	その他	10	4.2%
	非常持ち出し品等の備えができていない	8	3.3%
	地域の防災組織の強化	4	1.7%
	備えは必要だが、実行していない	4	1.7%
	災害情報は意識して入手している	2	0.8%
	計	58	24.3%
その他	防災についての周知徹底	11	4.6%
	避難場所が少ない・遠い	6	2.5%
	帰宅困難者への対応の周知が必要	2	0.8%
	計	19	7.9%
全体		239	100.0%

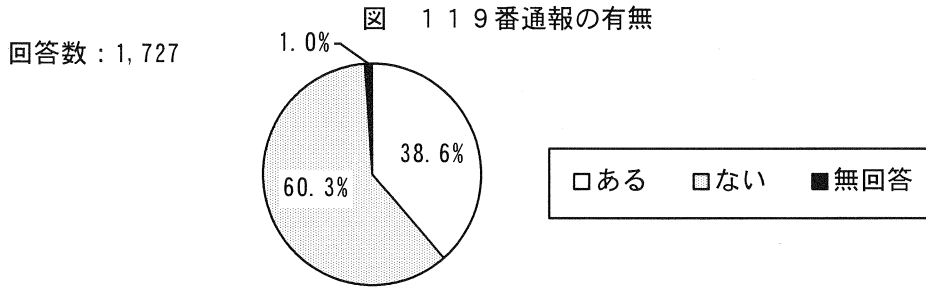
1-3 119番通報について

1-3-1 119番通報の有無

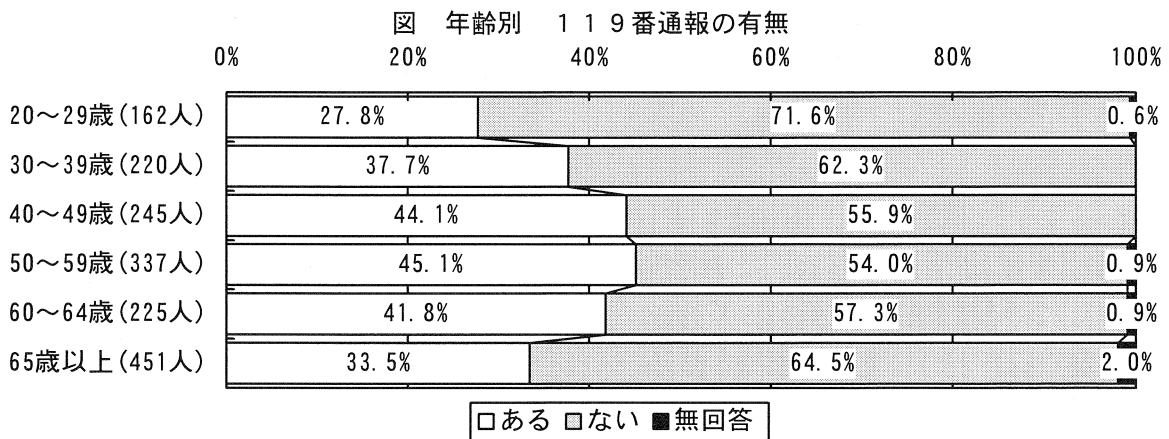
問4 あなたは、いままでに119番通報をされたことがありますか。

【あてはまるもの1つに○】

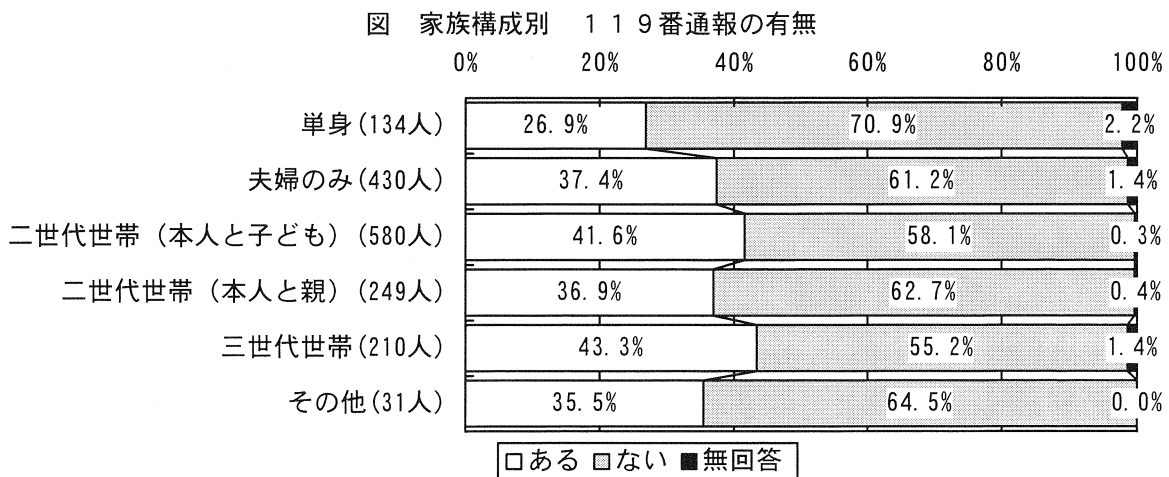
119番通報の有無は、「ない」が60.3%で「ある」(38.6%)を21.7ポイント上回っている。



年齢別にみると、「ある」は「50～59歳」(45.1%)で最も高く、次いで「40～49歳」(44.1%)となっている。



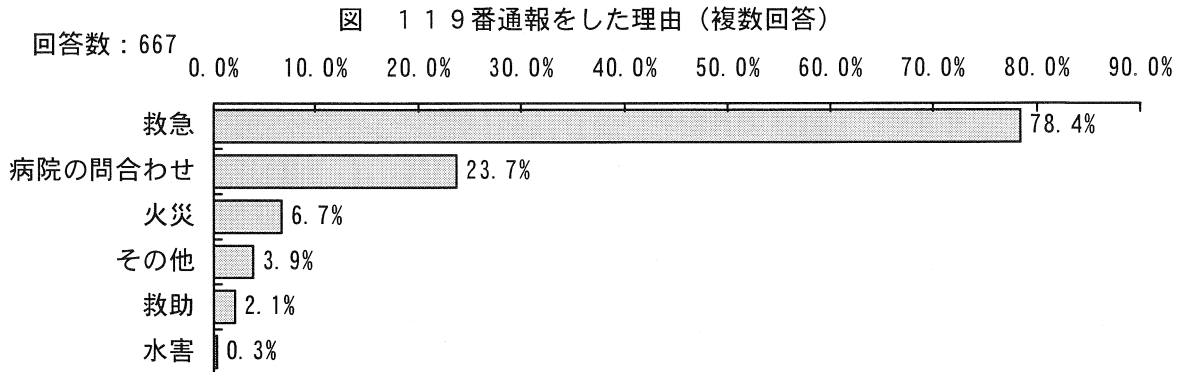
家族構成別にみると、「ある」は「三世代世帯」(43.3%)で最も高く、次いで「二世帯世帯(本人と子ども)」(41.6%)となっている。



1-3-2 119番通報をした理由

問4-1 問4で「1. ある」と答えた方にお聞きします。どんなときに119番通報されましたか。【あてはまるものすべてに○】

119番通報をしたことが「ある」方の内、119番通報をした理由は、「救急」が78.4%で最も多く、次いで「病院の問い合わせ」(23.7%)となっている。

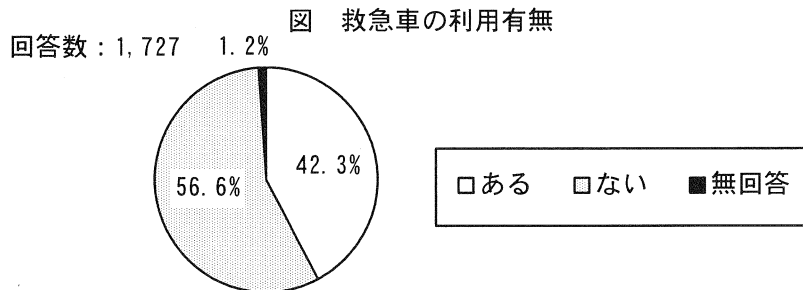


1-4 救急車について

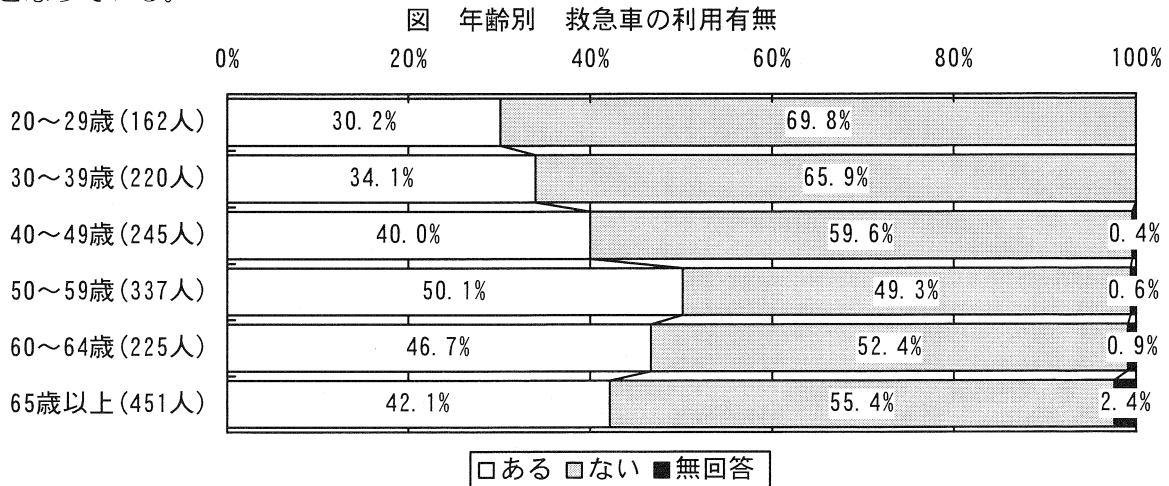
1-4-1 救急車の利用有無

問5 救急車を利用されたことがありますか？【あてはまるもの1つに○】

救急車の利用有無は、「ない」が56.6%で「ある」(42.3%)を14.3ポイント上回っている。



年齢別にみると、「ある」は「50～59歳」(50.1%)で最も高く、次いで「60～64歳」(46.7%)となっている。

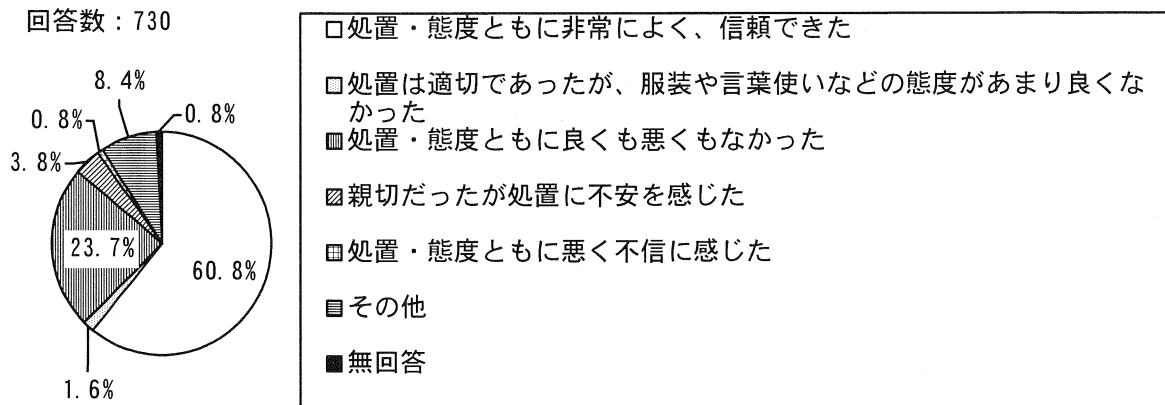


1-4-2 救急隊員の印象

問5-1 問5で「1. ある」と答えた方にお聞きします。救急車を利用されたときの救急隊員の印象はどうでしたか。【あてはまるもの1つに○】

救急車を利用したことが「ある」方内、救急隊員の印象は、「処置・態度ともに非常によく、信頼できた」が60.8%で最も多く、次いで「処置・態度ともに良くも悪くもなかった」(23.7%)となっている。

図 救急隊員の印象

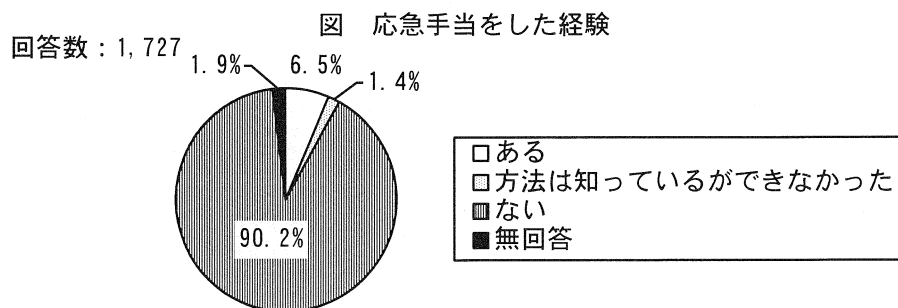


1-5 応急手当について

1-5-1 応急手当をした経験

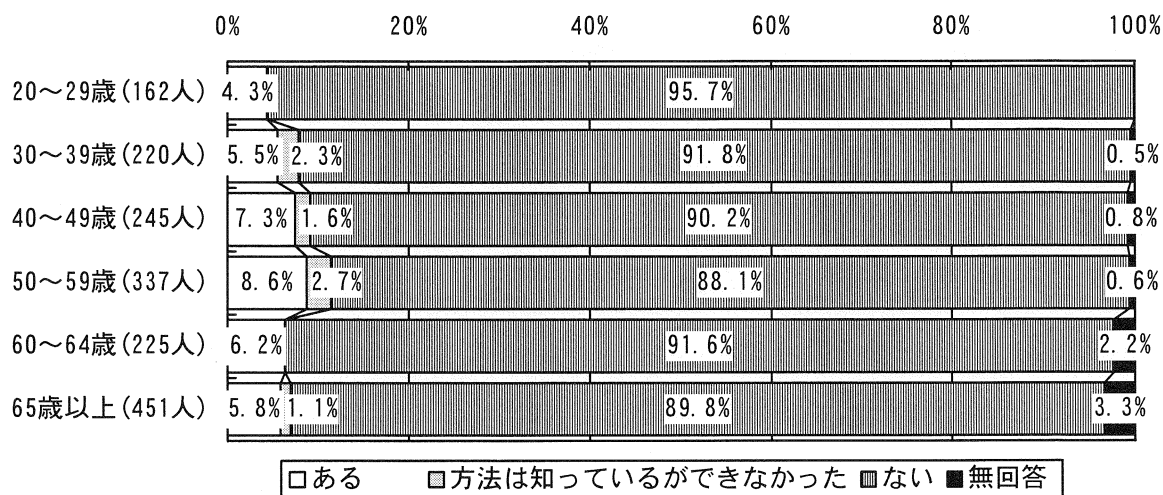
問6 交通事故や急病などで、救急車が来るまでに応急手当をした経験がありますか。【あてはまるもの1つに○】

応急手当をした経験は、「ない」が90.2%で、「ある」は6.5%となっている。



年齢別にみると、「ない」が「20～29歳」(95.7%)で最も高く、次いで「30～39歳」(91.8%)となっている。また、「ある」及び「方法は知っていたができなかった」の合計は「50～59歳」(11.3%)で最も高くなっている。

図 年齢別 応急手当をした経験



1-5-2 応急手当の習得場所

問6-1 問6で「1. ある」または「2. 方法は知っているができなかった」と答えた方にお聞きします。応急手当の方法は、どこで習いましたか。【あてはまるものすべてに○と回数を記入】

応急手当をした経験が「ある」または「方法は知っているができなかった」方の内、応急手当の習得場所は「学校や職場での講習」が54.7%で最も多く、次いで「その他」(24.8%)、「消防署が行う講習会」(21.2%)となっている。「その他」には、「医療に携わる職業のため」(8人)、「介護講習」(4人)、「赤十字の講習会」(4人)、「本やテレビ等」(4人)等がある。

図 応急手当の習得場所 (複数回答)

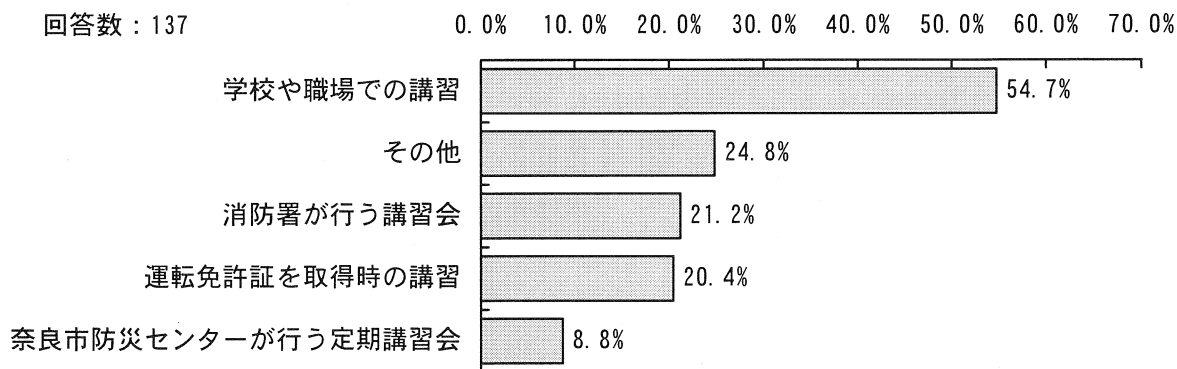


表 参加回数

	消防署が行う講習会への参加回数		奈良市防災センターが行う定期講習会への参加回数		学校や職場での講習への参加回数		その他への参加回数	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1回	14	48.3%	7	58.3%	26	34.7%	10	29.4%
2回	7	24.1%	2	16.7%	13	17.3%	2	5.9%
3回	2	6.9%	1	8.3%	14	18.7%	2	5.9%
4回	2	6.9%	1	8.3%	2	2.7%	0	0.0%
5回	1	3.4%	0	0.0%	2	2.7%	0	0.0%
6回	0	0.0%	0	0.0%	1	1.3%	1	2.9%
10回	0	0.0%	0	0.0%	2	2.7%	0	0.0%
無回答	3	10.3%	1	8.3%	15	20.0%	19	55.9%
合計	29	100.0%	12	100.0%	75	100.0%	34	100.0%

1-6 消火器について

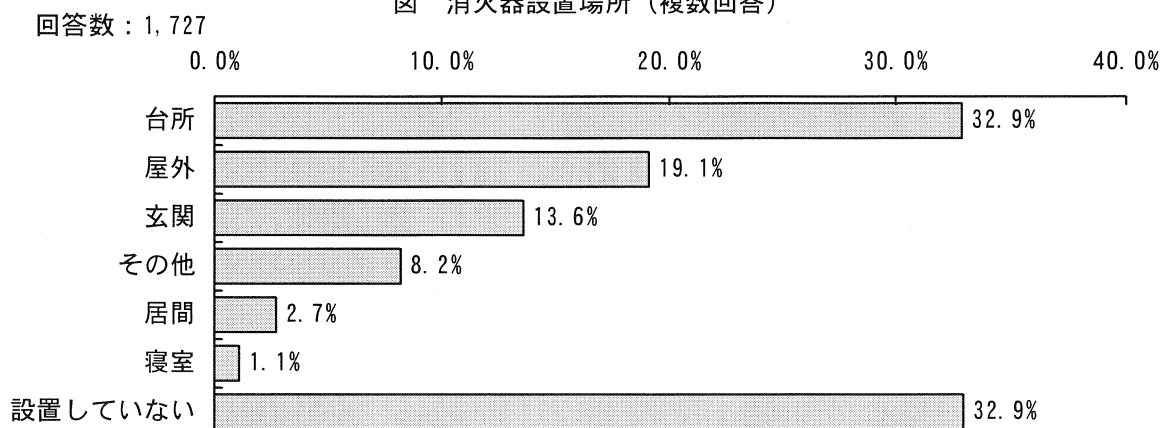
1-6-1 消火器設置場所

問7 あなたのお宅では消火器をどこに設置していますか。【あてはまるものすべてに○】

消火器設置場所は、「設置していない」を除いて「台所」が32.9%で最も多く、次いで「屋外」(19.1%)、「玄関」(13.6%)となっている。

なお、「設置していない」は32.9%となっている。

図 消火器設置場所（複数回答）



家族構成別にみると、「設置していない」は「単身」(38.8%)で最も高く、次いで「二世帯世帯(本人と子ども)」(35.3%)となっている。設置場所としては「台所」が、「その他」を除く全ての家族構成で最も多く、なかでも「三世帯世帯」(44.3%)で最も高くなっている。

地域別にみると、「設置していない」は「北部地域」(40.0%)で最も高く、次いで「中部地域」(36.8%)となっている。

表 属性別 消火器設置場所（複数回答）

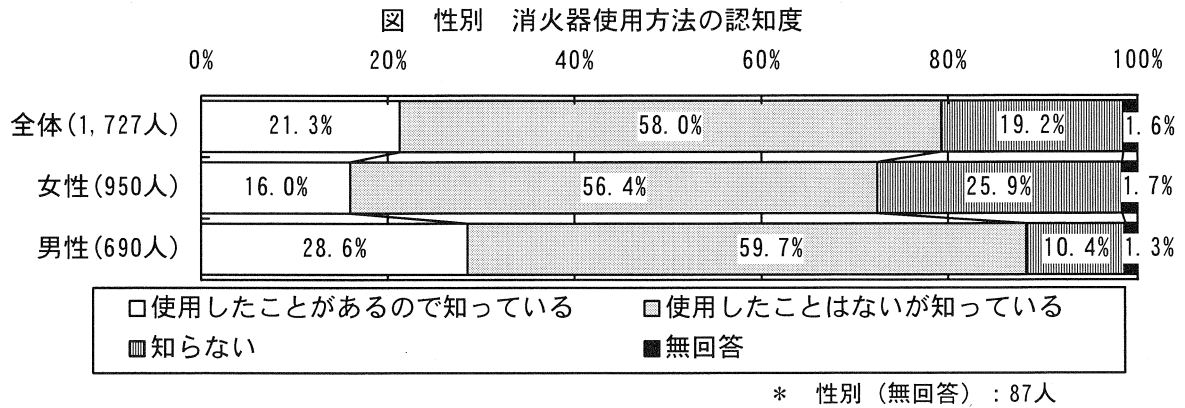
	有効回答数	台所	寝室	玄関	居間	屋外	その他	設置していない	
全体	1,727	32.9%	1.1%	13.6%	2.7%	19.1%	8.2%	32.9%	
家族構成	単身	20.9%	1.5%	11.9%	0.0%	19.4%	8.2%	38.8%	
	夫婦のみ	32.6%	0.5%	13.0%	2.3%	20.0%	8.4%	34.4%	
	二世帯世帯 (本人と子ども)	580	31.9%	0.7%	12.4%	3.3%	18.4%	7.2%	35.3%
	二世帯世帯 (本人と親)	249	34.1%	1.6%	15.7%	2.8%	19.7%	9.2%	27.7%
	三世帯世帯	210	44.3%	1.4%	15.2%	2.9%	18.6%	9.0%	26.2%
	その他	31	22.6%	6.5%	25.8%	9.7%	25.8%	3.2%	32.3%
地域	西部地域	769	31.7%	0.9%	12.9%	2.5%	18.9%	7.8%	33.9%
	北部地域	125	24.0%	0.8%	10.4%	3.2%	20.0%	9.6%	40.0%
	中部地域	114	29.8%	0.9%	15.8%	2.6%	16.7%	7.9%	36.8%
	中央市街地	414	31.6%	1.0%	15.7%	2.9%	21.7%	8.0%	33.8%
	南部地域	122	41.0%	0.8%	14.8%	1.6%	20.5%	6.6%	27.0%
	東部地域	26	80.8%	3.8%	11.5%	7.7%	19.2%	15.4%	3.8%
	月ヶ瀬地域	9	66.7%	11.1%	11.1%	11.1%	11.1%	0.0%	0.0%
	都祁地域	31	38.7%	3.2%	6.5%	3.2%	3.2%	9.7%	25.8%

1-6-2 消火器使用方法の認知度

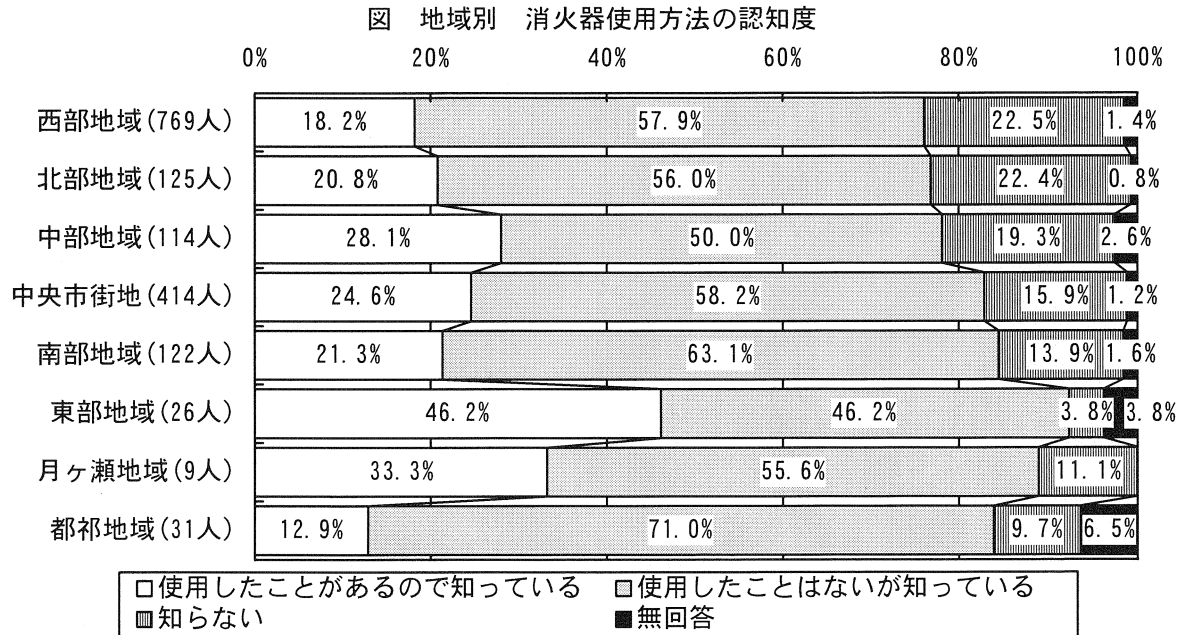
問8 消火器の使用操作方法を知っていますか。【あてはまるもの1つに○】

消火器使用方法の認知度は、「使用したことはないが知っている」が58.0%で最も多く、次いで「使用したことがあるので知っている」(21.3%)となっている。「知らない」は19.2%となっている。

性別で見ると、「使用したことはないが知っている」に大きな差はないが、「使用したことがあるので知っている」が男性では28.6%に対し女性は16.0%と使用経験が低くなっている。また、「知らない」が男性で10.4%に対し女性は25.9%にのぼり、使用方法の認知度が低くなっている。



地域別にみると、「西部地域」と「北部地域」で「知らない」が20%を超え、他地域より高い比率となっている。

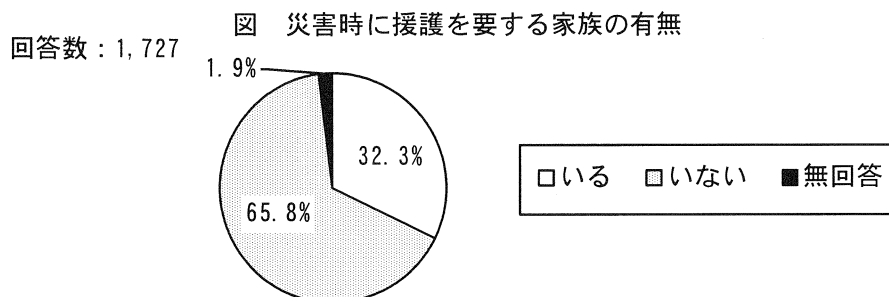


1-7 災害時に援護を要する家族について

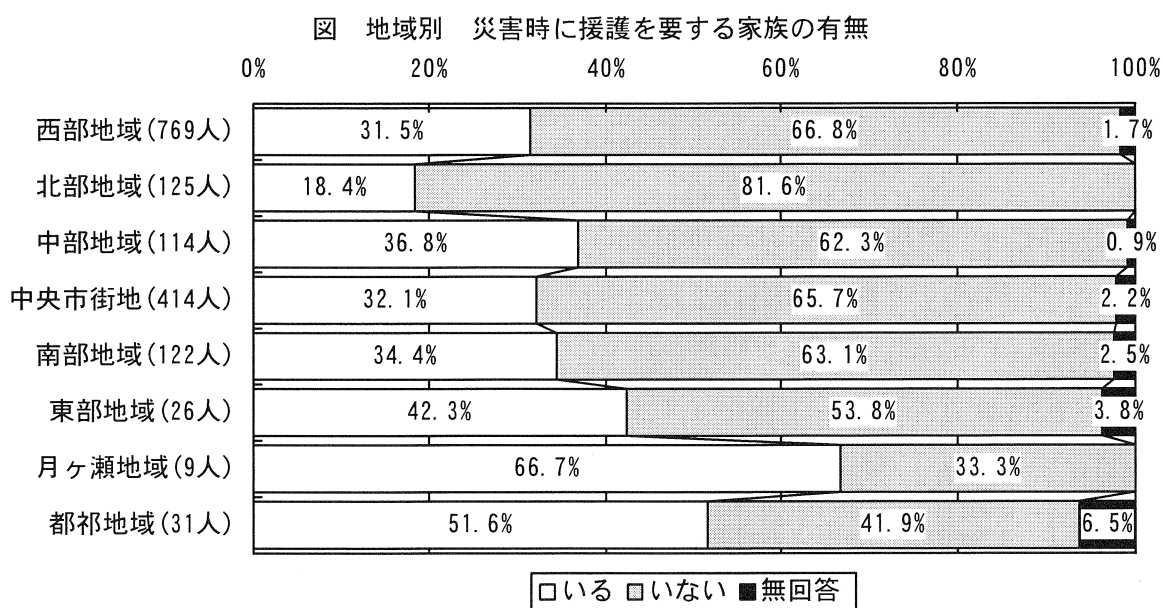
1-7-1 災害時に援護を要する家族の有無

問9 あなたのお宅には、災害時に高齢者（65歳以上）等の援護を要するご家族が同居されていますか。【あてはまるもの1つに○】

災害時に援護を要する家族の有無は、「いない」が65.8%で「いる」(32.3%)を33.5ポイント上回っている。



地域別にみると、「いる」は「月ヶ瀬地域」(66.7%)が最も高く、次いで「都祁地域」(51.6%)、「東部地域」(42.3%)となっている。

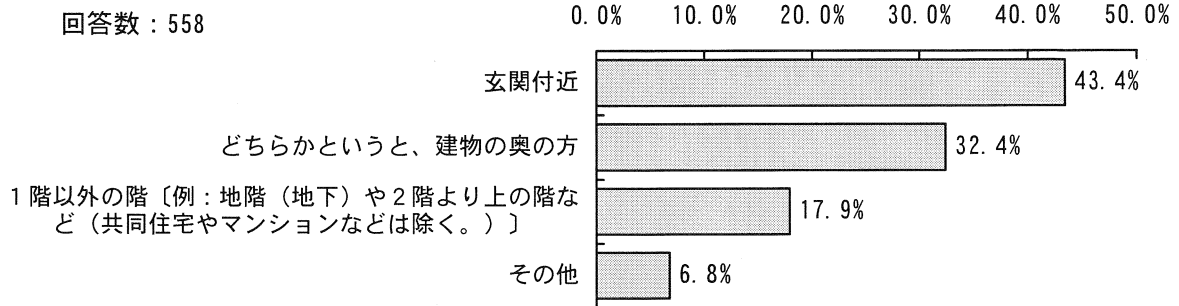


1-7-2 要援護者の寝室場所

問9-1 問9で「1. いる」と答えた方にお聞きします。その方の寝室は次のうちのどこにありますか。【あてはまるものすべてに○】

災害時に援護を要する家族が「いる」方内、要援護者の寝室場所は、「玄関付近」が43.4%で最も多く、次いで「どちらかというと、建物の奥の方」(32.4%)となっている。

図 要援護者の寝室場所（複数回答）



家族構成別にみると、「玄関付近」は「二世帯世帯（本人と親）」(49.1%)が最も高く、次いで「二世帯世帯（本人と子ども）」(47.7%)となっており、「どちらかというと、建物の奥の方」は「三世帯世帯」が38.5%で最も高くなっている。

地域別にみると、「玄関付近」は「北部地域」が52.2%で最も高く、次いで「中部地域」と「都祁地域」（各50.0%）で高くなっており、「どちらかというと、建物の奥の方」は、「東部地域」が63.6%で最も高く、次いで「南部地域」(42.9%)となっている。

表 属性別 要援護者の寝室場所（複数回答）

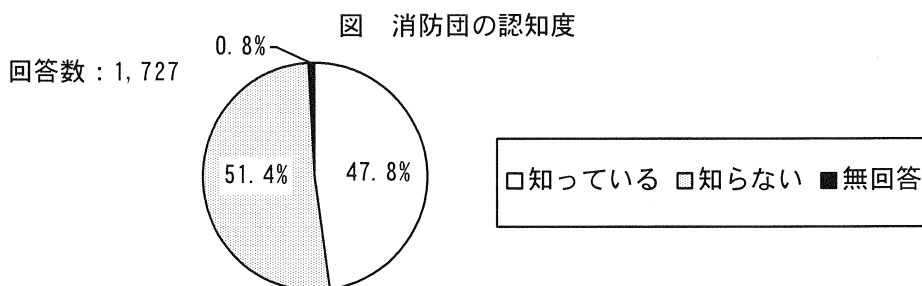
	有効回答数	玄関付近	物ど のち らか の 方 と い う と、 建	く や 上 階 1 階 以 外 の 階 （ 例 ： 地 階 （ 地 下 ） や 2 階 よ り 上 の 階 な ど （ 共 同 住 宅 や マ ン シ ョ ン な ど は 除 け る ）	そ の 他
全体	558	43.4%	32.4%	17.9%	6.8%
家族構成					
単身	30	36.7%	23.3%	13.3%	6.7%
夫婦のみ	115	41.7%	27.0%	30.4%	7.8%
二世帯世帯 （本人と子ども）	88	47.7%	29.5%	18.2%	5.7%
二世帯世帯 （本人と親）	116	49.1%	31.9%	17.2%	4.3%
三世帯世帯	161	44.1%	38.5%	11.2%	6.2%
その他	16	25.0%	37.5%	0.0%	31.3%
地域					
西部地域	242	42.6%	28.5%	19.4%	8.7%
北部地域	23	52.2%	26.1%	17.4%	8.7%
中部地域	42	50.0%	28.6%	16.7%	4.8%
中央市街地	133	46.6%	35.3%	15.8%	5.3%
南部地域	42	35.7%	42.9%	16.7%	4.8%
東部地域	11	9.1%	63.6%	9.1%	18.2%
月ヶ瀬地域	6	33.3%	33.3%	16.7%	16.7%
都祁地域	16	50.0%	31.3%	18.8%	0.0%

1-8 消防団について

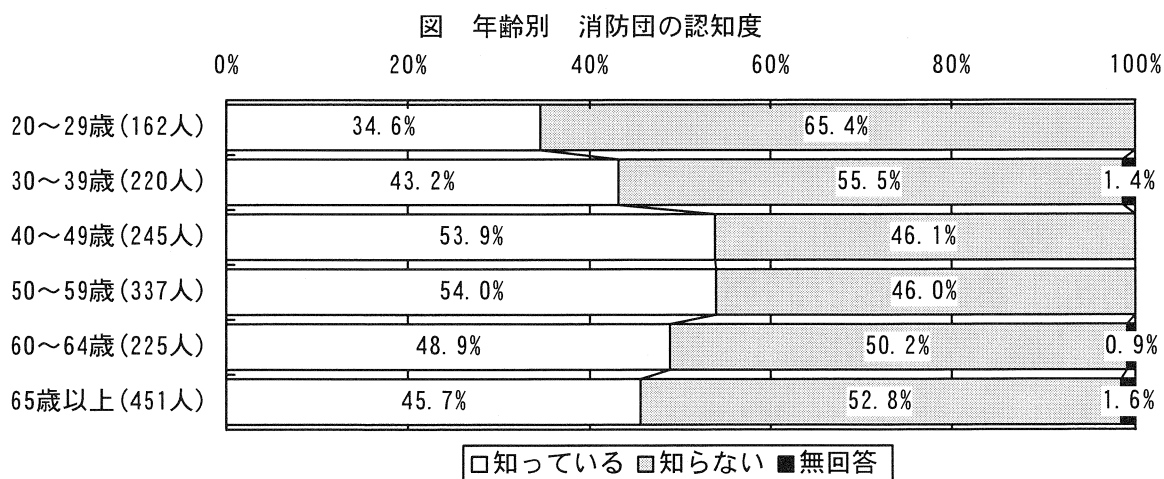
1-8-1 消防団の認知度

問 10 奈良市には、消防機関として常勤の職員による消防署のほか、住民有志による消防団がありますが、知っていますか。【あてはまるもの1つに○】

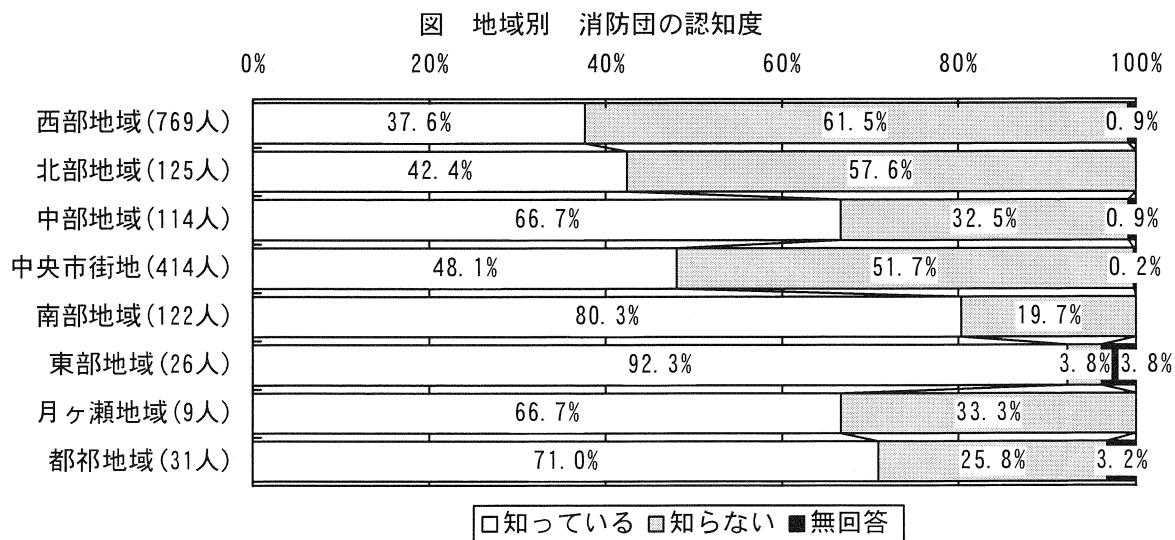
消防団の認知度は、「知らない」が51.4%で「知っている」(47.8%)を3.6ポイント上回っている。



年齢別にみると、「40～49歳」と「50～59歳」で「知っている」が過半数を超えているが、他の年齢ではいずれも「知らない」が「知っている」を上回っている。



地域別にみると、「知らない」は「西部地域」が61.5%で最も高く、次いで「北部地域」(57.6%)、「中央市街地」(51.7%)となっている。



1-8-2 消防団への入団意志

問 11 あなたは、もし、消防団に入ってほしいと言われたらどうしますか。【あてはまるもの1つに○】

消防団への入団意志は、「入らない」が76.5%で最も多く、「入る」(14.0%)を62.5ポイント上回っている。「すでに入っている」と「入っていたことはあるが入らない」はともに2%台で、ごく少数になっている。
 年齢別にみると、「入らない」は「30～39歳」が81.4%で最も高く、次いで「65歳以上」(80.5%)となっている。「入る」は「20～29歳」が21.0%で最も高くなっている。「すでに入っている」は、「50～59歳」が4.5%で最も高くなっている。

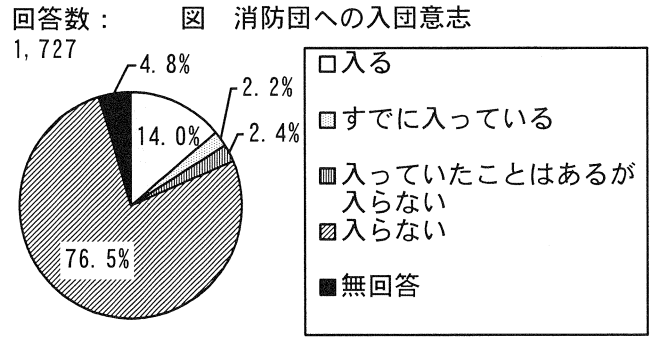
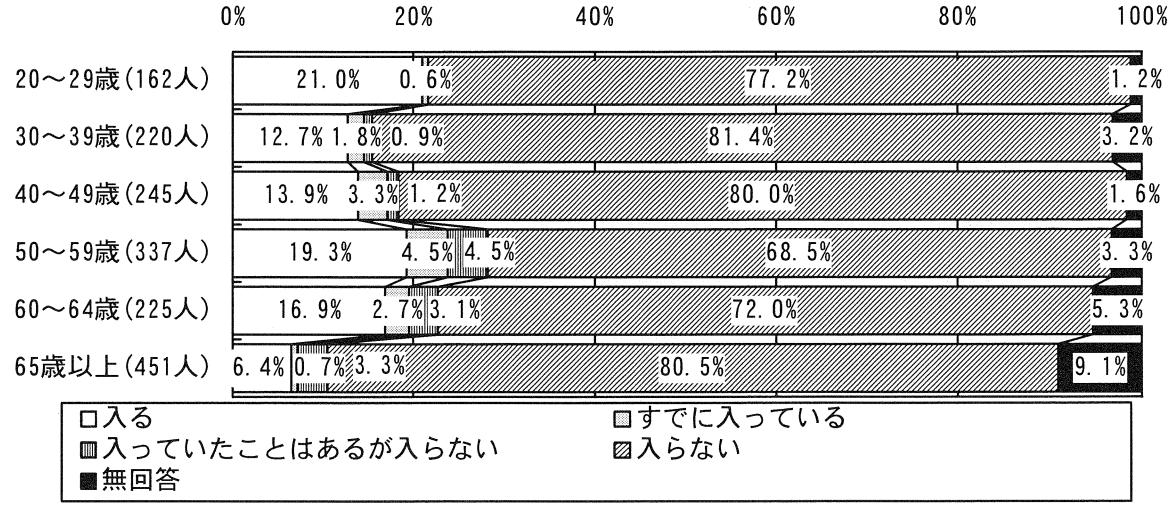
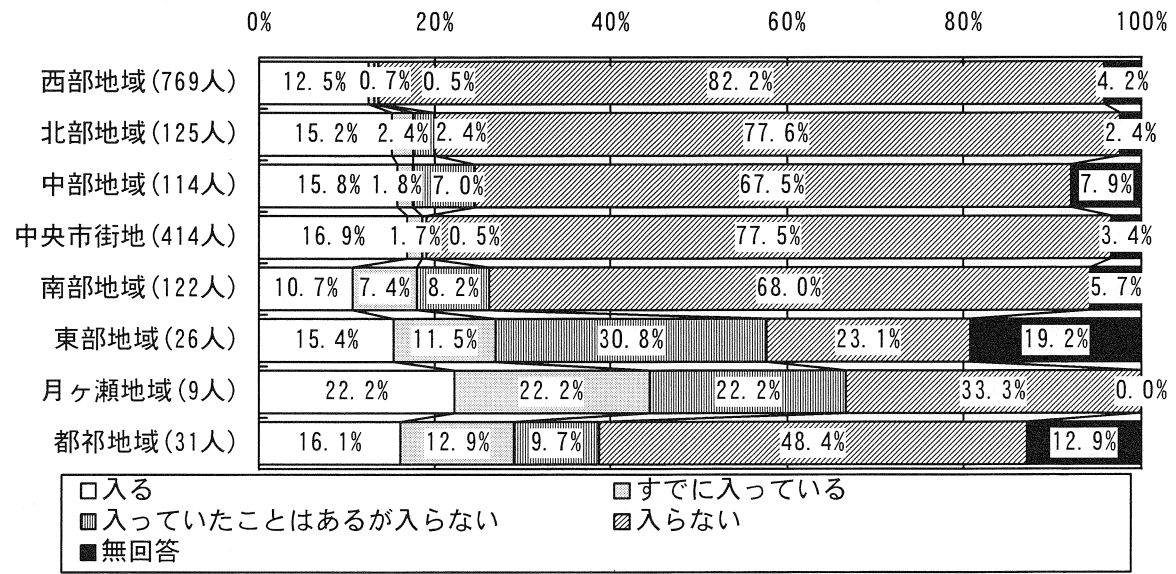


図 年齢別 消防団への入団意志



地域別にみると、「入らない」は「西部地域」が82.2%で最も高く、次いで「北部地域」(77.6%)となっている。

図 地域別 消防団への入団意志

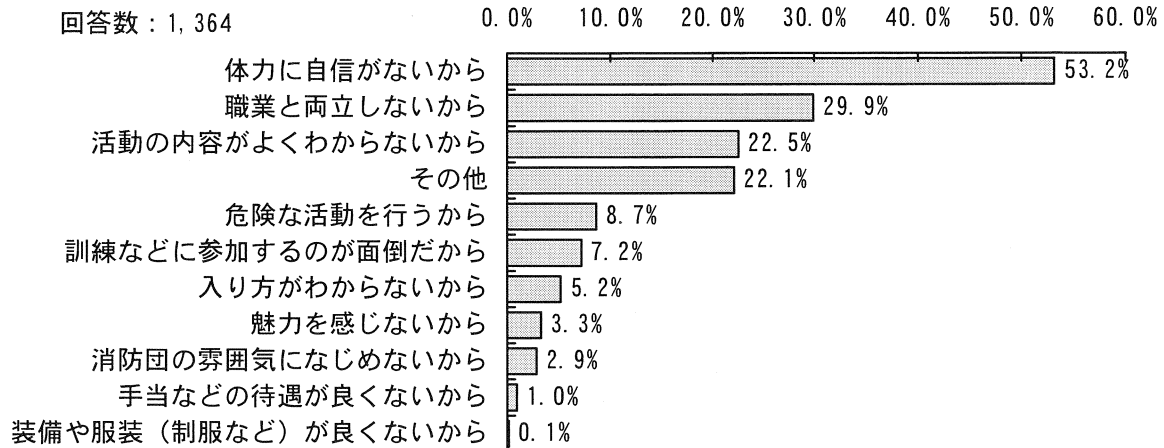


1-8-3 消防団に入らない理由

問 11-1 問 11 で「3. 入っていたことはあるが入らない」または「4. 入らない」と答えた方にお聞きします。あなたが消防団に入らない理由は何ですか。【あてはまるものすべてに○】

消防団に「入っていたことはあるが入らない」または「入らない」と答えた方の内、消防団に入らない理由は「体力に自信がないから」が53.2%で最も多く、次いで「職業と両立しないから」(29.9%)、「活動の内容がよくわからないから」(22.5%)となっている。

図 消防団に入らない理由（複数回答）



年齢別にみると、「体力に自信がないから」は「60～64歳」(71.6%)が最も高く、「職業と両立しないから」は「40～49歳」が50.3%で最も高く、次いで「30～39歳」(49.7%)となっている。「活動の内容がよくわからないから」は、「20～29歳」(42.4%)で最も高くなっている。

地域別にみると、「体力に自信がないから」と「職業と両立しないから」はともに「月ヶ瀬地域」(60.0%、40.0%)で最も高く、「活動の内容がよくわからないから」は「北部地域」(30.0%)で最も高くなっている。

表 属性別 消防団に入らない理由（複数回答）

	有効回答数	活動の内容がよくわからないから	危険な活動を行うから	体力に自信がないから	職業と両立しないから	訓練などに参加するのが面倒だから	消防団の雰囲気になじめないから	入り方がわからないから	手当などの待遇が良くないから	装備や服装（制服など）が良くないから	魅力を感じないから	その他	
全体	1,364	22.5%	8.7%	53.2%	29.9%	7.2%	2.9%	5.2%	1.0%	0.1%	3.3%	22.1%	
年齢	20～29歳	125	42.4%	12.8%	38.4%	47.2%	15.2%	1.6%	17.6%	2.4%	0.8%	9.6%	5.6%
	30～39歳	181	31.5%	11.6%	38.7%	49.7%	8.8%	5.0%	6.1%	2.2%	0.0%	6.6%	17.7%
	40～49歳	199	28.6%	12.1%	42.7%	50.3%	9.5%	4.0%	8.0%	1.0%	0.0%	5.0%	14.6%
	50～59歳	246	26.0%	8.5%	59.3%	36.2%	9.8%	3.7%	3.7%	1.2%	0.0%	1.6%	14.2%
	60～64歳	169	18.3%	5.9%	71.6%	17.2%	3.6%	3.0%	2.4%	0.0%	0.0%	2.4%	16.0%
	65歳以上	378	8.5%	5.6%	57.7%	4.5%	1.3%	1.3%	1.6%	0.3%	0.3%	0.8%	42.3%
地域	西部地域	636	24.1%	8.0%	55.3%	28.5%	6.8%	1.9%	5.7%	1.3%	0.3%	3.0%	22.8%
	北部地域	100	30.0%	12.0%	58.0%	29.0%	6.0%	5.0%	9.0%	2.0%	0.0%	4.0%	12.0%
	中部地域	85	12.9%	9.4%	56.5%	28.2%	3.5%	5.9%	2.4%	1.2%	0.0%	3.5%	23.5%
	中央市街地	323	22.3%	9.9%	45.8%	31.9%	8.0%	3.4%	5.0%	0.6%	0.0%	5.0%	24.5%
	南部地域	93	19.4%	7.5%	54.8%	33.3%	6.5%	2.2%	3.2%	0.0%	0.0%	3.2%	20.4%
	東部地域	14	0.0%	0.0%	57.1%	28.6%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	28.6%
	月ヶ瀬地域	5	20.0%	0.0%	60.0%	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%
	都祁地域	18	27.8%	0.0%	44.4%	33.3%	5.6%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	22.2%

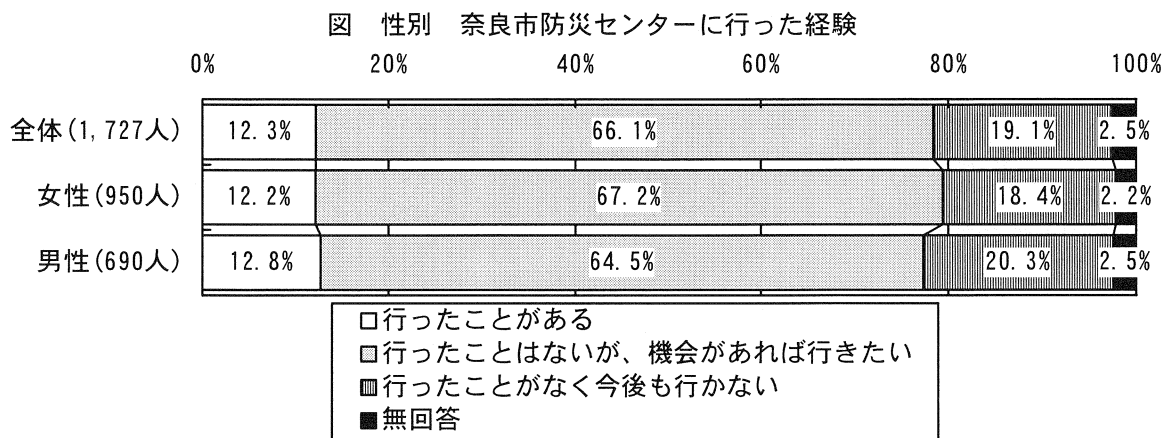
1-9 奈良市防災センターについて

1-9-1 奈良市防災センターに行った経験

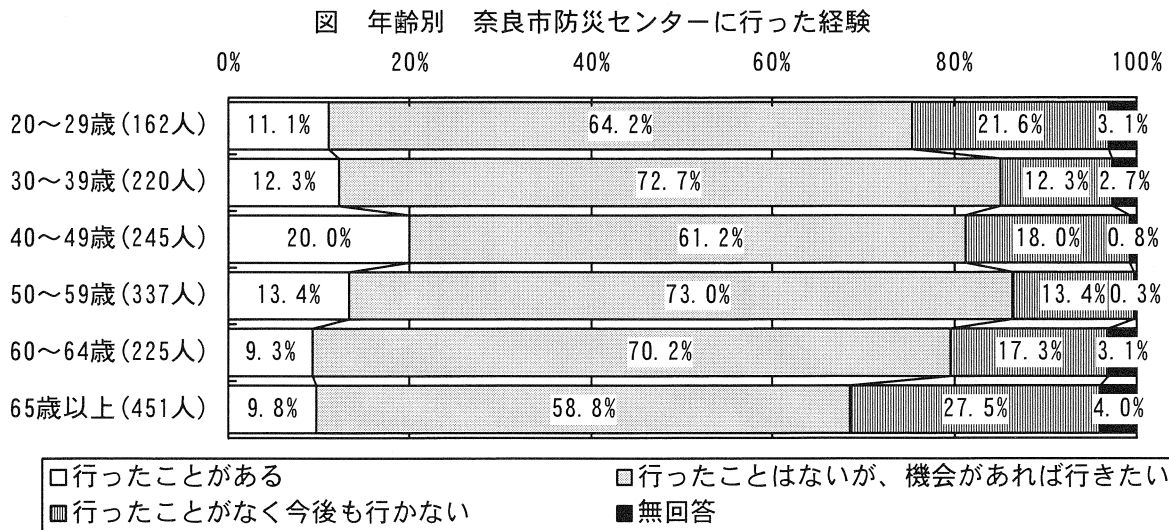
問 12 奈良市防災センターは、防災に関する正しい知識と確かな技術を体験しながら学習していただけるよう、地震や台風、火災などの体験施設の設置や様々な事業を実施しています。防災教育の充実を図るためにお聞きします。あなたは、奈良市防災センターに行ったことがありますか。【あてはまるもの1つに○】

奈良市防災センターに行った経験は、「行ったことはないが、機会があれば行きたい」が66.1%で最も多く、次いで「行ったことがなく、今後も行かない」(19.1%)、「行ったことがある」(12.3%)となっている。

性別でみると、「行ったことはないが、機会があれば行きたい」は「女性」が67.2%で「男性」(64.5%)を2.7ポイント上回っている。



年齢別にみると、「行ったことはないが、機会があれば行きたい」は「50～59歳」が73.0%で最も高く、次いで「30～39歳」(72.7%)となっている。



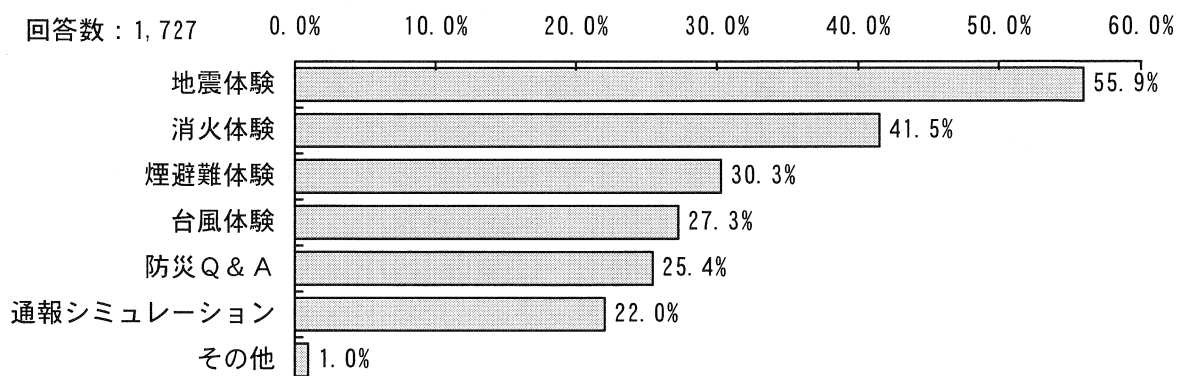
1-9-2 奈良市防災センターで興味のある体験施設・事業（行事）

問 13 奈良市防災センターの体験施設や事業（行事）のうち、あなたの興味がある項目はそれぞれどれですか。【あてはまるものすべてに〇】

(1) 興味のある体験施設

奈良市防災センターで興味のある体験施設については、「地震体験」が 55.9%で最も多く、次いで「消火体験」(41.5%)、「煙避難体験」(30.3%)、「台風体験」(27.3%)となっている。

図 興味のある体験施設（複数回答）



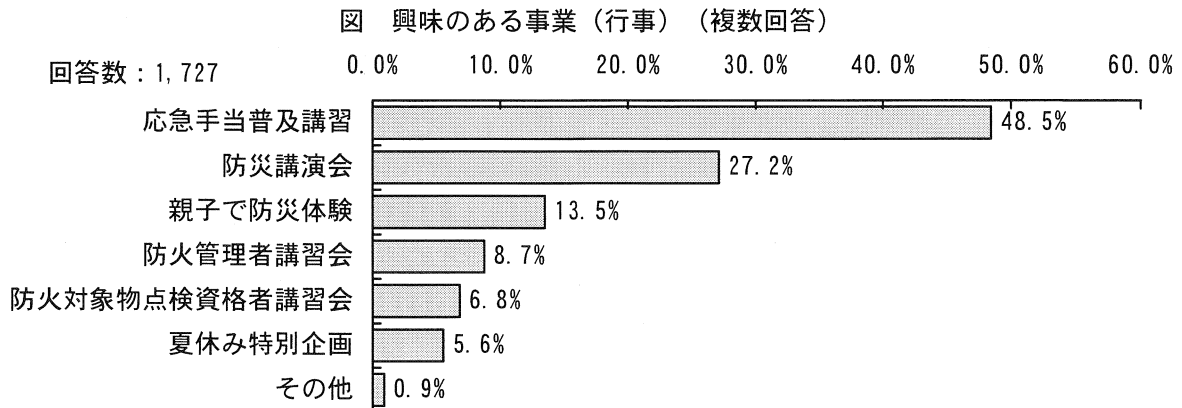
年齢別に回答の多い順をみると、いずれの世代でも「地震体験」が最も多く、次いで「消火体験」であるが、第3位は、「20～29歳」と「30～39歳」で「台風体験」、「40～49歳」と「50～59歳」で「煙避難体験」となり、「60～64歳」では「煙避難体験」と「防災Q&A」が並び、「65歳以上」になると「防災Q&A」となっている。

表 年齢別 興味のある体験施設（複数回答）

	有効回答数	回答の多い順の上位				
		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
20～29歳	162	地震体験 79.6%	消火体験 50.6%	台風体験 50.0%	煙避難体験 35.8%	通報シミュレーション 24.1%
30～39歳	220	地震体験 69.1%	消火体験 53.2%	台風体験 43.6%	煙避難体験 39.1%	防災Q&A 25.0%
40～49歳	245	地震体験 63.3%	消火体験 50.2%	煙避難体験 42.0%	台風体験 34.7%	防災Q&A 26.1%
50～59歳	337	地震体験 52.2%	消火体験 44.8%	煙避難体験 35.6%	防災Q&A 29.1%	通報シミュレーション 26.4%
60～64歳	225	地震体験 52.9%	消火体験 36.4%	防災Q&A 28.4%	煙避難体験 28.4%	通報シミュレーション 25.8%
65歳以上	451	地震体験 42.1%	消火体験 29.5%	防災Q&A 23.3%	台風体験 18.6%	煙避難体験 15.5%

(2) 興味のある事業（行事）

奈良市防災センターで興味のある事業（行事）は、「応急手当普及講習」が48.5%で最も多く、次いで「防災講演会」（27.2%）、「親子で防災体験」（13.5%）となっている。



年齢別に回答の多い順をみると、いずれの世代でも「応急手当普及講習」が最も多いが、第2位は「30～39歳」と「40～49歳」では「親子で防災体験」、他の世代では「防災講演会」となっている。第3位は、「20～29歳」で「防火対象物点検資格者講習会」、「30～39歳」で「夏休み特別企画」、「40～49歳」で「防火講演会」となっており、50歳以上はいずれも「防火管理者講習会」となっている。

表 年齢別 興味のある事業（行事）（複数回答）

	有効回答数	回答の多い順の上位				
		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
20～29歳	162	応急手当普及講習 51.9%	防災講演会 13.0%	防火対象物点検資格者講習会 12.3%	親子で防災体験 10.5%	防火管理者講習会 10.5%
30～39歳	220	応急手当普及講習 57.7%	親子で防災体験 38.2%	夏休み特別企画 18.2%	防災講演会 13.6%	防火管理者講習会 8.6%
40～49歳	245	応急手当普及講習 54.3%	親子で防災体験 24.9%	防災講演会 22.0%	防火管理者講習会 8.6%	夏休み特別企画 8.2%
50～59歳	337	応急手当普及講習 58.5%	防災講演会 33.5%	防火管理者講習会 11.3%	防火対象物点検資格者講習会 10.1%	親子で防災体験 7.7%
60～64歳	225	応急手当普及講習 45.8%	防災講演会 39.6%	防火管理者講習会 10.7%	防火対象物点検資格者講習会 6.2%	親子で防災体験 4.4%
65歳以上	451	応急手当普及講習 33.3%	防災講演会 32.8%	防火管理者講習会 6.7%	親子で防災体験 4.9%	防火対象物点検資格者講習会 2.2%